

(別紙)

岐阜県産業技術総合センター 講演会・研究成果発表会 「繊維・紙業分野」 ～概要～

- 日時 ■ 令和7年9月2日(火) 13:30～16:30
- 場所 ■ 岐阜県産業技術総合センター実験棟A 2階 A201多目的ホール(関市小瀬1288)
- 主催 ■ 岐阜県産業技術総合センター
- 参加費 ■ 無料

～ プログラム ～

1 講演 13:35～14:35

演題:『繊維と感性、そして環境ー価値あるものづくりと持続可能な未来へー』

講師:神戸大学 人間発達環境学研究科教授 井上 真理 氏

繊維製品は、私たちの暮らしに密接しながら、環境負荷や大量廃棄といった課題も抱えています。本講演では、繊維と環境問題の現状、感性評価技術による新たな価値創出、さらにトレーサビリティやリサイクル技術が可能にする未来社会の姿について展望します。そして、産業界・地域社会・消費者の連携による持続可能な繊維のあり方を探っていければと考えています。

2 研究成果発表 14:50～15:50

①「繊維端材のリサイクルによる資源循環型部材開発に関する研究

ー端材を原料とした吸音材の開発ー 繊維・紙業部 主任専門研究員 中島 孝康
構成繊維同士が熱で融着されてボード状になっている製品の端材について、分解片を挟んだ構造の不織布を試作し吸音性を検討しました。

②「繊維端材のリサイクルによる資源循環型部材開発に関する研究

ー異種ポリマーブレンド物の熔融紡糸技術の開発ー 化学部長 林 浩司(元繊維・紙業部)
異種の熱可塑性材料が混在している繊維端材から、熔融紡糸法により繊維を再生する技術の開発を目指しました。ポリエステル樹脂の基材に接着用のナイロン樹脂が使われている繊維製品を想定し、まずはバージン樹脂を使用して、その混合物から繊維を作製する条件を検討しました。

③「ウールブレンド紙系繊維製品の開発」

化学部長 林 浩司(元繊維・紙業部)
尾州産地は毛織物の生産が盛んです。美濃機械すき紙から作られる紙糸にウール繊維を30%配合した紙糸を作製しました。この紙糸からニット生地を作製し、風合い等を評価しました。

④「機能性を有する繊維の開発」 産業イノベーション推進課 主任技師 亀山 遼一(元繊維・紙業部)

機能性付与として、シクロデキストリン(CD)を繊維へ固定加工し、固定量を推定しました。また、靴下への加工方法について検討しました。

3 所内見学(希望者を対象) 15:50～16:30

主に繊維関連の設備についてご紹介します。